

愛知大學 國文學

第六十四號

追憶と忘却の対位法	渡邊章夫	1
——立原道造詩に於ける時制の問題——		
伝小倉実名筆藤葉集切管見	日比野浩信	19
学生の卒論から		32
「持論」と「自論」、		
「自説」と「持説」について	漆谷広樹	35
彙報		55

2025-1

愛知大學國文學會